

平成25年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ・社会人特別入試・
帰国子女特別入試）

小 論 文

工学部 機械システム工学科（昼間主コース・夜間主コース）

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙は表と裏に別れている。
4. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
5. 解答時間は、90分である。
6. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

科学技術は時代と社会の要請にこたえ、絶え間なく発展し、それに伴い人々の生活様式は大きく変化してきました。例えばこの20年間において、(1) 新聞や雑誌以外にもインターネットによる情報収集ができるようになり、(2) 固定電話から携帯電話等へ通信手段が変化し、(3) 自動車においてはガソリン車・ディーゼル車からモーターとのハイブリッド車あるいは電気自動車へ移行しつつあり、科学技術の大きな進歩が見られています。この科学技術の進歩について、以下の設問に答えなさい。

問1 上記の(1) - (3)のうち一つの題材を取り上げて、次の20年間にはどのような技術的な進歩が生じる可能性があるのか。現状の課題、今後の展望について、あなた自身の考えを300字以上、600字以内で述べなさい。

問2 我が国は世界で最も早く超高齢化社会を迎えました。一方、科学技術の進歩は生産年齢(生産活動ができる年齢。現在15歳以上65歳未満)の上限を上げ、高齢者がより長く働けるような社会の形成に貢献できる可能性があります。そのために、今後どのような科学技術の進歩が必要とされるのか、あなた自身の考えを300字以上、600字以内で述べなさい。

平成25年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ・社会人特別入試・
帰国子女特別入試）

小論文

工学部 機械システム工学科(昼間主コース・夜間主コース)

出題の意図

この小論文の出題の意図は以下の通りです。

本問題では、近年、科学技術により大きく発展したメディア、通信手段、移動手段における、現状の問題点と将来への進歩についての受験者の考えを論述させる。さらに、超高齢化社会における高齢者に対して、科学技術がどのように発展してゆくのか自分自身の考えを論述させる。以上を通して、本学科のアドミッションポリシーにある通り、機械工学の基礎となる科学技術への受験者の関心度合い、論理的思考力、問題理解力、日本語表現力、応用力を見ることを意図している。